



基本的方向5

歴史・文化資源の保存と継承

【SDGs】		【目指す方向】
 11 住み続けられるまちづくりを	 17 パートナーシップで目標を達成しよう	佐野市の誇る歴史・文化資源や豊かな自然を保存・活用し、郷土への愛情と誇りを育みます。

【役割分担】	
市民	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の歴史・文化資源に対して関心を寄せ、理解を深めます。 郷土の歴史・文化資源の保存・継承に協力します。 郷土の歴史・文化資源を地域づくりに活用します。
事業所	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の歴史・文化資源に対して関心を寄せ、理解を深めます。 郷土の歴史・文化資源の保存・継承に協力します。 郷土の歴史・文化資源を地域づくりに活用します。 地域住民が行う歴史・文化資源を活用した地域づくりを支援します。
行政	<ul style="list-style-type: none"> 歴史・文化資源を適正かつ確実に保存・継承するため、調査研究を行うとともに、必要に応じて修復等を行います。 歴史・文化資源への理解を促進するため、有益な情報を広く発信するとともに、博物館等施設が所蔵する収蔵品の公開に努めます。 歴史・文化資源の保存・継承に携わる地域や団体等を支援します。 歴史・文化資源の保存・継承に係る人材育成を支援します。 歴史・文化資源の魅力発信について、外国人向けの周知啓発方法を検討します。

基本的方向5の施策と人づくりの柱との関連			
【基本的方向5の施策】		人材育成	環境整備
施策22	歴史・文化資源の調査と適切かつ確実な保存・継承	—	○
施策23	歴史・文化資源への理解促進と地域づくりの推進	○	○



天明鑄物を使った茶道体験



地域探検(八幡神楽)



佐野秀郷太鼓の体験



博物館利用学習



唐沢山城跡保存整備事業に伴う講演会



葛生化石館企画展関連講演会

施策22 歴史・文化資源の調査と適切かつ確実な保存・継承

人づくりの柱の視点との関連			
人材育成	—	環境整備	○

現状と課題

○ 文化財は長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な財産です。
 また、我が国や各地域の歴史や文化の理解のために不可欠なものであり、将来の文化向上の基礎となるものでもあります。このため文化財を適切に保存し、未来に伝えていくことは極めて重要なことです。

○ 平成31(2019)年4月に文化財保護法の一部が改正され、文化財の計画的な保存・活用の促進や、地方文化財行政の推進力の強化を図ることが示されました。
 この改正の背景には、過疎化や少子高齢化等により、文化財の滅失や散逸等の防止が緊急の課題となったことがあり、文化財をまちづくりに活かすなど、地域社会全体でその継承に取り組んでいかなければならない状況になったことが挙げられます。

○ 本市には国指定史跡である「唐沢山城跡」、令和6(2024)年3月21日に国の重要有形民俗文化財として指定された「佐野の天明鋳物生産用具及び製品」、また郷土の偉人である 田中正造翁 に関する特色ある文化財が豊富に残されています。
 こうした貴重な文化財を次代へ継承するため、文化財の価値を見直したり新たな文化財の発見に努めたりするとともに、文化財の保存修復を図りながら、文化財の活用を計画的に進めていく必要があります。

成果指標		基準値 (R6)	目標値 (R11)
1	適切かつ確実に保存・継承されている指定等文化財件数(累計)	274件	278件

施策22	歴史・文化資源の調査と適切かつ確実な保存・継承			
主な取組	(1) 文化財等の調査及び保存・継承の推進			
人づくりの柱	人材育成	—	環境整備	○
地域の文化資源を掘り起こすとともに、指定文化財の維持管理に努め、必要に応じた適切な保存修復を施して、次代への継承を推進していきます。				

具体的な方策	内 容
①指定・登録文化財候補物件の調査の実施	未指定・未登録の文化資源の価値を見つめ直し、指定文化財等の増進を図ります。
②指定文化財の保存修復の推進	破損や経年劣化等により修復を要する指定文化財等の所有者を支援するなど文化財の適切な保存と継承を推進します。
③天明鋳物生産用具の保管・活用方法の検討	国の重要有形民俗文化財に指定された「佐野の天明鋳物生産用具及び製品」の保管場所の検討のため、先進地の事例等の調査を実施するとともに、活用方法についても検討します。

関連事業、会議・研修等	
○文化財保護審議会運営事業	○文化財保護調査事業
○指定文化財保存修復支援事業	○天明鋳物生産用具保存継承事業



佐野の天明鋳物生産用具及び製品



佐野市ホームページ
【文化財】

施策22	歴史・文化資源の調査と適切かつ確実な保存・継承			
主な取組	(2) 唐沢山城跡等の適切な保存整備と活用の推進			
人づくりの柱	人材育成	—	環境整備	○
国指定史跡である唐沢山城跡をはじめとする本市の貴重な文化財の適切な保存整備と活用を推進します。				

具体的な方策	内 容
①唐沢山城跡の適切な保存整備の推進	郷土を代表する歴史・文化資源である唐沢山城跡の適切な保存整備を推進します。
②「田中正造旧宅」の一般公開の支援の充実	本市の偉人である田中正造翁の理解促進を図るために県指定史跡「田中正造旧宅」の一般公開の支援の充実を図ります。
③「歴史文化基本構想」の策定検討	「歴史文化基本構想」に向けた文化財総合調査の計画策定を検討します。

関連事業、会議・研修等	
○唐沢山城跡保存整備事業	○田中正造旧宅一般公開支援事業



令和4（2022）年度石垣積み直し工事



唐沢山城跡本丸西虎口北側石垣



県指定史跡「田中正造旧宅」



佐野市ホームページ
【唐沢山城跡】



佐野市ホームページ
【田中正造旧宅】

施策23 歴史・文化資源への理解促進と地域づくりの推進

人づくりの柱の視点との関連			
人材育成	○	環境整備	○

現状と課題	
○	郷土の魅力ある歴史や文化、豊かな自然環境について学んだり体験したりすることで、人々の歴史・文化資源や自然環境への保護意識の高まりや郷土愛の醸成等をもたらすことが期待できます。 また、その資源を活用した行事の開催やその魅力の発信をすることで、多くの人が訪れる賑わいのあるまちづくりにもつながることが期待できます。
○	本市では、文化財要覧となる「佐野市の文化財」の作成や、郷土博物館、葛生化石館、葛生伝承館において各種講座や企画展を開催するなど、市の歴史や文化への理解促進に取り組んでいます。
○	国指定史跡「唐沢山城跡」に関するイベントを開催し、市内外から多くの参加がありました。
○	子どもたちを対象とする博物館利用学習も計画的に実施し、本市の歴史を知り、魅力を理解し、次代につなげていくことができるように学習を進めています。 さらに、各学校で実施しているふるさと学習では、地域の歴史や文化、豊かな自然を体感できる学習に取り組み、自分の生まれたふるさとへの愛着や誇りを育んでいます。
○	今後も本市の歴史・文化資源、自然環境の価値を積極的に発信し、理解促進が図れるような取組を行うとともに、それらを活かしたまちづくりを推進していくことが重要となっています。 また、こうした歴史・文化資源に対する理解促進と併せて歴史文化資源を継承する人材の育成も必要です。

成果指標		基準値 (R6)	目標値 (R11)
1	歴史・文化資源関連のボランティア活動参加人数 (養成講座、解説・案内ガイド、清掃等) (単年度)	732人	860人

施策23	歴史・文化資源への理解促進と地域づくりの推進			
主な取組	(1) 歴史・文化資源の理解促進			
人づくりの柱	人材育成	—	環境整備	○
本市の歴史・文化資源への理解促進を図るための取組を通して、市民の歴史・文化資源への興味関心や文化財保護意識をより一層高めます。				

具体的な方策	内 容
①郷土博物館、葛生化石館、葛生伝承館における企画展等の充実	佐野市の歴史や文化を身近に学ぶことができるように郷土博物館、葛生化石館、葛生伝承館において魅力ある企画展や講演会等を開催します。

関連事業、会議・研修等	
○郷土博物館指定管理事業	○葛生化石館企画展等開設事業
○葛生化石館講座等開設事業	○葛生伝承館企画展等開設事業
○葛生伝承館講座等開設事業	

葛生伝承館の展示



吉澤人形頭



牧歌舞伎舞台の襖絵



佐野市郷土博物館



葛生化石館



葛生伝承館

施策23	歴史・文化資源への理解促進と地域づくりの推進			
主な取組	(2) ふるさとの歴史や自然に触れる機会の充実			
人づくりの柱	人材育成	○	環境整備	○
郷土博物館などで郷土の豊かな歴史や自然に育まれた歴史・文化資源に触れる機会を創出し、本市の歴史や自然への子どもたちの興味関心を高めます。				

具体的な方策	内 容
①博物館利用学習の充実	郷土博物館などでの体験的な学習や出張講座等を通して、子どもたちの博物館等への親近感やふるさとの歴史や自然への興味関心を高めます。
②ふるさと学習の推進〔再掲〕	※参照先 【基本的方向1】 【施策4】 【主な取組】(3) 伝統と文化を尊重する教育の充実

関連事業、会議・研修等	
○郷土博物館指定管理事業	○葛生化石館講座等開設事業
○葛生伝承館講座等開設事業	

施策23	歴史・文化資源への理解促進と地域づくりの推進			
主な取組	(3) 文化財等の保存・継承に係る担い手の創出			
人づくりの柱	人材育成	○	環境整備	—
本市の貴重な史跡等を後世に残すため、保存や継承をするための担い手を創出します。				

具体的な方策	内 容
①史跡等を保存・継承する担い手の創出	唐沢山城跡をはじめとする本市の誇る史跡等を保存・継承するため、各種ボランティア養成講座の実施内容等の点検・見直しを行い、保存・継承活動の担い手となるボランティア人材の育成とさらなる増加に努めます。

関連事業、会議・研修等	
○唐沢山城跡保存整備事業	○田中正造旧宅一般公開支援事業

佐野市教育委員会 子どもの郷土愛醸成事業

行ってみて やってみて 知れば知るほど

もっと好きになる ふるさと さの



さのまる♡佐野市

令和 8年4月



ふるさとを学び、ふるさととつながる 佐野市立学校の取組

